

ニュースに触れて

期末試験も終わり、大学に入学してはや1年以上経ったのかと思うこの頃です。さて、話は変わりますが、最近ニュースを見なくなっていると感じている方は結構多いのではないのでしょうか。私もそう感じていました。今回はそんな私の意識を変えるきっかけになった、大学での英語の講義について、少しばかりですが話したいと思います。

前期に行われていた英語の講義は、海外のニュースを題材にしており、環境や人種、政治など様々な問題について触れることができるようになっていました。日本国内のニュースに触れることが少なくなっていた私にとって、海外のニュースに触れることは非常に新鮮なことでした。その国独自の環境保護対策や、日本で暮らす中であまり意識することのない根深い人種差別問題など、講義を受けていくうちに、英語はもちろん報道されている内容にも興味を持つようになりました。特に、ロシア・ウクライナ戦争下でのタイムリーな報道や、銃乱射事件に巻き込まれた被害者遺族の切実な訴えが印象に残りました。このようなニュースを見て、日本国内のニュースでは滅多に感じることのない思いを抱くようになりました。

無尽蔵の情報で溢れている社会では、自ら進んで情報を取捨選択しなければなりません。国内のニュースについて知っておくことも大切ですが、海外のニュースについても把握しておくことで、自身の視野が広がると思います。私は大学での講義を機に、自分の殻にこもって興味のあるニュースばかり見ずに、色々な分野のニュースも見ることを心がけるようになりました。忙しい中でも、すきま時間を有効に使って、ニュースに少しでも触れてみてはいかがでしょうか。何かが変わるきっかけになるかもしれません。